

教育

◆年3回の「土曜開校」を実施しています!

多久市では6月、9月、12月の第1週の土曜日に「土曜開校」を実施しています。12月は、12月2日(土)を「多久市教育の日」と定め、保護者や地域のみなさんに授業参観や講演会を設定したり、子ども達が保護者や地域のみなさんと一緒に体験活動等を行ったります。各学校では、学校運営協議会とも連携し、企画・立案中です。保護者や地域のみなさん、ぜひ学校へお越しください。

◆全国版論語検定試験に挑戦!

多久市では、3年生が初級、5年生が中級の論語検定試験に挑戦しています。漢字文化振興協会「湯島聖堂 漢文(論語・漢詩文)検定」の試験を各学校で実施し、7年目を迎えます。初級は、提示された10篇より、出題された5篇中3篇を朗誦できたら合格です。中級は、20篇が提示され、朗誦と筆記試験があり、それぞれ6割以上できたら合格です。昨年度の合格率は、初級100%、中級95%で、毎年向上しています。子ども達は論語に親しんでいます。



問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

今月の論語

其の善かざる者にして
之を改む

よくない人を見たら、
自分の反省材料にすればよい。

今月の帰宅放送は、東原産舎西溪校 9年 田中 想さん(多久町)です

教育長コラム

ちよっとい話



「心配してくれる人がいる」

担任した中3の生徒の家に立ち寄って帰る私に、毎回その祖父母が農作業の手をとめいつまでも腰を曲げたままで見送ってくれました。恐縮しながら、姿から溢れる思いが心に沁みました。

その生徒は、暴走族の仲間入り。ある日、自分の体験を吐露した。「幼い日に母が家出し、父も数年後に家出。しばらくして母は戻ったが許せない。生まれなければよかった」と、嗚咽。

母親に伝え関係改善を図ろうと、私が立ち会い対面させたが、本人は何も言えず私が代理で伝えた。

彼には、祖父母の見送りの様子を教えた。「心配してくれている人がいる」大人になった彼から、結婚式の招待状が届いた。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆「ニュース見つ「こんな人達」と指をさす
トップの言葉ドラママであれと

◆人は生き 何かを学ぶ時が編む
平凡という非凡の中に
野崎 隆幸

◆うら若き母に抱かれし幼子の
手にそっと触れ内孫のなき吾
川浪 信子

◆「サガン鳥栖」ホームの日だけ吾知りぬ
日頃わからぬ子の行動を
浦野 嘉恵

◆再訪のモンゴル草原今は亡き
友ら偲びつ馬頭琴聴く
尾形 節子

◆天空の吐息のごとく木槿落つ
おおやはな
中嶋 清子

◆片蔭を拾ひてゆきし軒庇
武富 律子

◆えのころの仕草に足を止めけり
田中あつ子
倉成 皓

◆聖廟が画用紙はみ出す写生会
大谷 和

◆年金のお祝い続き羽根が生え
高塚チカ子

◆手の節の我が人生をそっと撫で
古賀ちひろ

◆リハビリ中一歩一歩にVサイン
井上 東子

◆人生を明るくさせた健康体
西山 残月